

令和 7 年 9 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	5	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	こども医療費助成制度について			制度が始まり 1 年経過するが保護者からは大変ありがたいという声をよく聞く。運用開始からこれまでの状況及びこれからの運用について伺う。 (1) この 1 年でこれまでに助成した額はいくらになるか。 (2) 令和 7 年度予算では 6 億 7 千万円を計上しているがその根拠は。 (3) これまでに助成をしたこどもの年齢別人数は。 (4) 助成をした傷病についてのデータはあるか。 (5) 助成についての市民、保護者の反応を調査したことがあるか。また、今後この助成の継続についてはどのように考えているか。 (6) 助成することが目的ではあるが、せっかくの制度をもっと生かすことができると感じる。こどもたちの健康や疾病状況を把握し、傷病の予防啓発につなげることができるか考えるがいかがか。 (7) せっかく良い制度であるが P R がまだまだ足りていないような気がする。制度をもっと市内外にアピールすることにより子育て世代に安心感を与え、出生率の向上や市外からの結婚・子育て移住につなげることができるか考えるがいかがか。		市長 副市長 教育長 関係部長
2	外国籍児童生徒への学習支援について			日本に働きに来る方や日本に魅力を感じ移住する方など、日本中ほとんどの市町で外国人住民人口が年々増加してきている。それは本市においても同じで、現在 3,000 人を超える外国人が住民登録し居住している。それに伴い外国人のこども、児童生徒も増加しており、小中学校ではその対応に苦慮しているという声も聞く。小中学校における外国人児童生徒への対応について伺う。 (1) 市内小中学校における外国籍児童生徒数の推移は。また、現在、各学校における在籍状況や影響について伺う。 (2) 外国籍児童生徒のための支援としてどのようなことが必要と考えられ、現在どのような支援を行っているか伺う。 (3) 外国籍児童生徒の支援として令和 7 年度の教育委員会の主要施策の中に「外国人児童生徒支援員（スペイン語・ポルトガル語・中国語）を学校へ派遣し、日本語指導の充実を図ります。」とうたわれている。外国人児童生徒支援員とはどのような方々で具体的にどのような方法で日本語指導を行っているのか伺う。 (4) 今行っている支援による成果はいかがか。また、支援は十分に行き届いていると考えられるか。 (5) 今後、ますます外国籍児童生徒数は増えることが予想されるが、日本人及び外国籍の児童生徒が等しく学び充実した学校生活を送るために今後の対応としてどのようなことを行うべきか考えるか伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長